

ほうふ  
Hofu

発行／防府市議会

編集／議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/sigikai/>

# 市議会だより No.15

平成21年11月15日



毛利氏庭園表門と紅葉

## 9月定例議会

|                |        |
|----------------|--------|
| 議案の概要          | P5～P7  |
| 一般質問           | P8～P13 |
| 水道事業決算特別委員会の報告 | P14    |
| 常任委員会の報告       | P15    |

|             |      |
|-------------|------|
| 8月臨時議会      | P2～4 |
| 市議会ホームページ案内 | P14  |
| 議会日誌        | P16  |
| 12月定例議会の予定  | P16  |

# 平成21年 8月 臨時議会

## 豪雨災害関連予算を可決 市長行政報告に質疑集中

### 意見書

### 予算

■平成21年度一般会計補正予算（5号）の専決処分（7月21日）

一般会計予算総額に、歳入歳出それぞれ7億6,250万円を追加しました。事業内容としては、次のとおりで、承認しました。

| 主な事業        | (万円)    |
|-------------|---------|
| 災害救助費関係     |         |
| 災害対策本部経費    | 9,950   |
| 避難所開設経費     | 4,590   |
| 災害廃棄物処理関係経費 | 850     |
| 臨時市広報配布経費   | 70      |
| 小中学校就学援助事業  | 170     |
| 災害復旧費関係     |         |
| 農業施設        | 1億6,320 |
| 林業施設        | 8,830   |
| 土木施設        | 4億1,320 |
| 文教施設        | 270     |
| その他公共施設     | 4,100   |

※補正予算額との差は、予備費で調整しています。

■平成21年度一般会計補正予算（6号）の専決処分（7月29日）

一般会計予算総額に、歳入歳出それぞれ4,687万4千円を追加しました。事業内容としては、国と市の災害弔慰金で、承認しました。

■平成21年度一般会計補正予算（7号）

一般会計予算総額に、歳入歳出それぞれ26億6,304万3千円を追加しました。内容は、当面の災害復旧事業や被災者の生活再建対策等の緊急を要するものと、国の追加経済危機対策の子育て支援及び離職者対策についてです。災害関連の主な事業は次のとおりで、原案どおり可決しました。2回の補正予算専決処分と合わせて、補正後の予算総額は418億315万1千円となりました。

| 主な事業          | (万円)    |
|---------------|---------|
| 災害復旧事業        |         |
| 農業施設          | 8億5,000 |
| 林業施設          | 1億7,700 |
| 土木施設          | 4億8,200 |
| 斎場施設          | 3億8,000 |
| 消防車両          | 6,500   |
| 生活再建対策事業      |         |
| 災害見舞金         | 1,900   |
| 災害援護資金貸付      | 1億9,300 |
| 被災者住宅支援対策     | 2,400   |
| 被災者住宅応急修理     | 5,200   |
| 災害廃棄物・家電リサイクル | 6,200   |
| 災害廃棄物流木等処理    | 2,200   |

■平成21年度水道事業会計補正予算（1号）  
水道事業会計補正予算について、原案どおり可決しました。災害復旧関連のものです。

■豪雨災害の復興支援に関する意見書

このたびの豪雨災害は、災害規模、被害面積はあまりにも甚大であり、防府市単独で全面的に復旧、支援を行うには、財政的にも人員的にも困難な状況にあり、山口県に対して、次の7点について特段の配慮を求める意見書を可決しました。

- ①国に激甚災害法の適用を要請する。
- ②被災者の生活再建に向けた支援金・貸付制度等の拡充。
- ③被災者生活再建支援制度の半壊、床上浸水等への拡大。
- ④中小企業、自営業者への公的融資の貸付条件等の緩和や償還期間の延長。
- ⑤農林水産業への公的融資の貸付条件等の緩和や償還期間の延長。
- ⑥農地や農業施設への補助等への支援。
- ⑦右記の支援拡充のため県独自の支援制度創設と支援の国への働きかけ。

※子育て応援特別手当（平成21年度）は平成21年10月16日、国において事業の執行停止が決定されたので、防府市においても執行停止されました。

### 総務委員会

#### 正副委員長の選出

総務委員会の弘中正俊委員長が委員長を辞任され、斉藤旭副委員長が委員長に、青木明夫委員が副委員長に選出されました。（8月11日付）

8月臨時議会は、8月11日に会期1日の日程で開催されました。  
7月21日の豪雨災害を受け、市長行政報告、災害関連の補正予算など、議案2件、承認2件、意見書1件を審議し、原案どおり可決しました。  
豪雨被害についての市長行政報告に対しては、市の災害時の対応、今後の復旧対策などについて、11名の議員が質疑し、市の考えをたどりました。  
議案等とその審議経過の概要をお知らせします。

# 豪雨災害に関する 市長行政報告への質疑（概要）

豪雨災害についての市長行政報告（4頁に要旨を掲載）に対しては、市の災害時の対応、今後の復旧対策などについて、11名の議員が質疑し、市の考えをたどりました。その概要を議会広報編集委員会でごまとめました。詳細については、8月臨時議会の会議録（8頁上段参照）をご覧ください。

## 初動体制は適切であったか

**議員** 災害対策本部を8時半に設置後、市長が西浦のふれあい車座トークに出かけられたのは、適切な行動であったのか。

**市長** 他の用務はキャンセルしたが、車座トーク（10時から）は、どなたが来られるかわからないので出て行き、参加者の協力で早めに切り上げ、10時50分には帰っていた。判断を誤っていたという指摘は、真摯に受けとめる。

**議員** 避難勧告の遅れはなぜか？どういう対処をしていたのか？

**総務部長** 避難勧告は、現地の状況、避難経路の確保、避難所開設という手順で出している。その中で、2622号、真尾



大規模な土石流（勝坂）

で土砂災害が起り、現地を確認し、随時避難所を開設、避難勧告を出した。

**議員** 県の土砂災害警戒情報に対してどのような対応をしたのか？

**総務部長** 災害対策本部に上がっていかった。この情報伝達の改善は進めていく。土砂災害警戒情報は地域を特定できていないので、避難勧告につながっていないかなったことは、大変遺憾に思う。

**議員** 県議会では、「避難勧告指示マニュアルが生かされなかったことが残念」との答弁があったが、市の認識は？

**総務部長** 避難勧告を出す要件は、マニュアルに書いてあるが、これは、現地で判断することになる。今後は中身を検討することが必要。

**議員** しっかり検証して、責任の所在を明確にしてほしい。

**市長** 初動体制について、指摘されていることは、真摯に受けとめさせていた。あの状況の中で、最善の対応に努めたと思うが、結果的に、いろいろな気づきがあり、今後の教訓としてい

ねばならない。

**議員** 検証の結果を市民、議会に報告書の形でまとめているが、市の本格的な考えは？

**総務部長** 検討の結果を形にして、市民、議会に示したい。

**議員** 想定外の災害であったことが、対応の遅れの理由とされているが、どの程度の災害を想定していたのか。



土砂に埋まった農地

## 早期の復旧・復興に向けて

**議員** 今回の災害を教訓に、安全に対する取り組みを今後どうするのか、基本的な考え方をお尋ねする。

**総務部長** マニュアルなど、今後速やかな対応が取れるように検証し、市民の安全の確保に努めていく。

**議員** 住宅被害の認定にあたって、国の通知や運用指針を生かし、住宅としての機能など、被災者の立場で見てほしい。

**健康福祉部長** 言われたような国の判断基準は承知をしているので、言われることは可能だと思つ。

**議員** 国や県に今後どのような要望をしていくのか。  
**市長** 激甚災害の指定を受けるべく、県

**市長** 台風と高潮、佐波川のはん濫に重点をおき、あのような突発的な土石流が随所に起こることは頭の中になかった。

**議員** 避難所に指定されている小野公民館が被災し、佐波川ハザードマップでは平屋建て施設が指定されているが、避難所の再検討が必要ではないのか。

**総務部長** 避難所として不適な所も実際にはあった。今後は、河川のはん濫や土砂の流出など、災害に応じた避難場所を設定するよう、早急に見直したい。

**議員** 土砂災害ハザードマップは早急につくるよう提言したい。

**市長** 国・県直轄の砂防堰堤の箇所などを参考に、重点地域のハザードマップについて、鋭意取り組んでいきたい。

とも連携を取っていききたい。

**議員** 同報系防災行政無線の運用状況はどうであったか？

**総務部長** 本格的に使ったのは今回が初めてで、雨の中で聞こえにくいとの意見を頂いたので、検討する必要がある。

**議員** 現時点で、不備な点、問題点をどうとらえているのか？

**総務部長** 情報が本部に伝わらなかったこと、避難勧告を出す判断基準を検討していきたい。

**議員** 被災者の住宅確保について、市営・県営住宅、雇用促進住宅や民間住宅の家賃補助をされ、評価するが、建て替えなどでは、6カ月では短いのではないか。

市長 今回の事態の中で半年では短いと痛感しており、復興本部で早急に詰めていく。

議員 台風時期を迎え、二次災害の不安があり、早期の対応が必要ではないのか。

土木都市建設部長 山腹等の不安定な箇所は、県が早急に堰堤の整備をされるが、それまでの間、二次災害防止のため、センサー及び雨量計による監視を実施し、復興作業にあたりと聞いている。

議員 今後復旧がどういふスケジュール

で、どういふ方向で進むのか、被災者への説明をどうするのか。

土木都市建設部長 国・県が堰堤をつくる計画が動いているので、これらの計画が説明されるときに、市も今後の計画を地元で説明していきたい。

議員 防災体制の不備な点、問題点の検証の方法については。

市長 今までは総務課の中の防災対策室であったが、組織を見直して一つの組織体にしていく必要がある、指示をした。

また、防災官のような専門的な知識を保有した人を配備することも指示した。

議員 市役所の相談の総合窓口は不便であり、右田、小野に相談所を設けて対応していただきたい。

市長 市から出向していくプロジェクトチームをつくって、8月5日から9日間、要望や困っていることを聞いている。

議員 農地の土砂撤去は、工事費用40万円以上が災害復旧事業の対象だが、40万円未満は、どうなるか。

## 豪雨災害に関する 市長行政報告（要旨）（8月11日）

●災害対策状況―被災当日、直ちに災害対策本部を設置、災害情報に対し、職員を現場へ派遣し、対処した。

しかし、午前8時から9時までの時間雨量70・5ミリ、総雨量550.0ミリという未経験の想像を絶する豪雨で、結果として多大な被害が発生したことは、誠に痛恨の極み。

土石流の被害発生後は、直ちに職員を派遣し、現地対策本部を設置して情報収集、避難所の開設を行い、移動手段の確保等の態勢が整ったところから住民に対し、避難所への避難勧告を行った。行方不明者搜索のため、自衛隊への人命救助の出動要請など可能な限りの対策を講じ、懸命の努力を行った。避難勧告等の市の対応が後手に回っ

たとの指摘を真摯に受けとめ、今後の災害時の対応についての教訓としたい。

●復興費用として約33億円の審議をお願いする。調査が進めば、被害額、復興費用とも増える。

●避難勧告等による避難状況は、7月21日の避難所開設後、7月24日夜34カ所、1,481人を最高に、8月10日時点で、5カ所110人となっている。

●り災証明の発行を7月21日から開始。被災状況に応じての見舞金、生活再建の各種支援制度や市税・国民健康保険料・介護保険料・介護及び福祉サービス利用料・保育料・上下水道料金などの免除や減額について、市広報臨時号を全戸配布し、7月30日から総合相談窓口での受付・相談を開始。

●被災者の住宅確保については、被災日から相談対応し、8月10日時点で、市営住宅18戸、県営住宅6戸を無料提供、既に市営住宅に6世帯、県営住宅に3世帯が入居、さらに市営住宅に3世帯の入居が決定。雇用促進住宅への臨時入居も36戸を確保し、15世帯が入居。民間賃貸住宅入居の方へ家賃補助も行う。

●被害の大きい右田・小野地域で、8月5日から9・13世帯を対象に職員による戸別訪問を実施し、被災状況を聞き取り、必要な情報を提供し、要望を承っている。

●市としては、被災者が一日も早く元の生活に戻られ、安心して生活できるように、被災者の立場に立ち、生活再建に向けてきめ細やかな支援を行う。

●市の防災対策について、今回明らかになった不備な点、問題点を徹底的に検証し、見直すところは見直し、災害に強いまちづくりに取り組む。

産業振興部長 単市の災害で対応できるものは、対応するよう聞き取り調査をしている。

### 豪雨災害の被害

8月臨時議会、9月定例議会の市長行政報告等で豪雨災害の被害状況などについて、報告されています。しかし、取りまとめの段階で、現在発表されている数字と異なるものもあるため、被害状況等を取りまとめました。

●防府市への義援金の受入状況  
2,026,266円

●1億470万5,184円

●県から市へ配分された義援金  
1億535万1千円

●市斎場（悠久苑）の一部再開  
10月15日（木）から火葬業務のみ再開

### 被害状況

|       |      |       |
|-------|------|-------|
| 人的被害  | 死者   | 14名   |
|       | 負傷者  | 25名   |
| 家屋被害  | 全壊   | 32件   |
|       | 半壊   | 66件   |
|       | 床上浸水 | 120件  |
|       | 床下浸水 | 1012件 |
| 河川    |      | 90カ所  |
| 道路    |      | 87カ所  |
| 下水道   |      | 11カ所  |
| 公園    |      | 8カ所   |
| 農業用施設 |      | 182カ所 |
| 農地    |      | 28ha  |
| 林道    |      | 28カ所  |

9月定例議会は、9月1日から29日までの会期29日間の日程で開催されました。

一般会計補正予算・特別会計補正予算をはじめ、平成20年度水道事業決算の認定等議案22件、選任2件、報告5件、認定1件、決議3件、請願1件が審議され、継続審査となっていた市自治基本条例は修正可決し、他は原案どおり可決しました。

また、一般会計ほか12特別会計の平成20年度決算認定は、設置された特別委員会で10月の委員会審査を経て、次の議会で審議されます。

主な議案等とその審議経過の概要をお知らせします。

# 平成21年 9月 定例議会

## 市自治基本条例 修正案が成立

### 豪雨災害関連の3決議を可決

#### 条例

##### ■市自治基本条例の制定

6月議会で継続審査となっていました  
が、4回の委員会審査で修正案がま  
り、本会議へ提出されました。市の自治  
の最高規範とすることには反対との意見  
等がありましたが、賛成多数で可決しま  
した。条例の施行は来年4月1日です。  
修正の主な点については、15頁の総務  
委員会報告をご覧ください。

##### ■国民健康保険条例一部改正

平成21年10月1日から平成23年3月31  
日までの間の出産に係わる出産育児一時  
金を4万円引き上げる特例措置をもうけ  
るものです。

#### 人事・一般議案

##### ■市教育委員の選任

鈴木隆子<sup>すずき たかこ</sup>さん（上天神町）が、9月30  
日で任期満了となりますが、引き続き選  
任しました。

##### ■固定資産評価審査委員の選任

橋本勇<sup>はしも ゆう</sup>さん（栄町1丁目）が、9月30  
日で任期満了となりますが、引き続き選  
任しました。

##### ■財産の取得

消防ポンプ自動車を1、865万8、  
500円、高規格救急自動車・高度救命  
処置用資機材を、3、494万4千円  
いずれも藤村ポンプ<sup>ふじむら</sup>（宇部市）より購  
入するものです。納入予定は、平成22年  
3月です。

##### ■工事請負契約の締結

華西中学校防音事業講堂増改築（建築  
主体）工事請負契約を、澤田建設<sup>さわだ</sup>と  
2億5、620万  
円で締結するも  
のです。平成19  
年度実施の耐力  
調査で改築が  
必要となり文部  
科学省と防衛省  
の補助を受け実  
施するものです。  
完成予定は、平  
成22年6月29日  
です。



華西中学校講堂イメージ図

##### ■工事請負契約の締結

浄化センター電気設備（中央監視・計  
装設備）改築工事請負契約を、（株）東芝中  
国支社と2億790万円で締結するもの  
です。工事の内容は、老朽化による施設  
の能力低下や維持管理費の増加を回避す  
るため、平成21・22年度の2力年の継続  
事業として改築をするものです。

##### ■消防事務委託の規約・管轄区域の変更

平成22年4月より、秋穂・徳地区域の  
消防受託事務を徳地区域のみに変更す  
るものです。

##### ■財産の取得

豪雨の災害救助中に勝坂で被災した消  
防車両2台を更新するためのものです。  
消防ポンプ自動車を1、771万3、  
500円で、防府藤中ポンプ店から、高  
規格救急自動車・高度救命処置用資機材  
を2、530万5千円で、藤村ポンプ<sup>ふじむら</sup>  
（宇部市）から購入します。それぞれ8社、  
5社の指名競争入札により契約し、納入  
予定は、いずれも平成22年3月です。

#### 予算

##### ■平成21年度一般会計補正予算（8号）

一般会計予算総額に、歳入歳出それぞ  
れ6億9、821万7千円を追加しまし  
た。内容としては、災害ボランティアセ  
ンターの経費補助、国の経済危機対策に  
よる介護施設や地域介護拠点整備等の経

費や、小中学校へのパソコン整備の経費等です。

また、市税等コールセンター業務委託事業については、減額の修正案が提出されましたが、原案どおり可決しました。

■平成21年度一般会計補正予算（9号）

一般会計予算総額に、歳入歳出それぞれ315万円を追加しました。前項の補正予算（8号）と合わせて、補正後の予算総額は425億451万8千円となりました。

内容としては、豪雨により被災された大光寺原霊園のF・G区画を対象に、①被害の程度に応じて、1区画当たり2万円又は5千円を災害見舞金として支給する経費、②豪雨災害を契機に返還を希望される利用者に、未使用の場合に準じて永代使用料の半額（13万円）を返還する経費、③平成21年度に限り墓園管理料の返還をする経費を計上しています。原案どおり可決しました。



750区画が被災した大光寺原霊園

■平成21年度特別会計補正予算

競輪・国民健康保険・公共下水道・駐車場・交通災害共済・介護保険・後期高

齢者医療事業の7特別会計について、いずれも原案どおり可決しました。

決算

■平成20年度水道事業決算の認定

水道事業会計と工業用水道事業会計について事業概要、経営状況を決算書により審査し、原案どおり認定しました。

決算審査については、14頁の水道事業決算特別委員会の報告をご覧ください。

■平成20年度決算の認定

地方自治法の規定により、監査委員の意見を付して議会が認定するものです。

一般会計と12特別会計の平成20年度決算の認定は、一般・特別会計決算特別委員会に付託されました。10月に委員会で審査され、次の議会で審議されます。

行政報告

■売却公有地の開発進捗よく状況

市街地再開発事業用地西区については、(株)穴吹工務店及びオール・シー・エフ(株)に売却していますが、分譲マンションは計画どおり9月から入居がはじまりました。一方、ホテル建設については、オール・シー・エフ(株)が破産したので破産管財人から(株)マツダレンタカー山口に売却したい旨の報告を受け、地区計画に反しないので転売を承認しました。

次に(株)原弘産に売却した防府駅みなとぐち広場の分譲マンション及びホテルの開発計画は、建設資材の高騰やマンション市況の不透明感の広がり等により着工時期をさらに1年延期したいとの申し出があり、やむを得ず承りました。

決議・請願

■平成21年7月21日豪雨災害に際しての支援に感謝し、復旧・復興を誓う決議

豪雨災害に際しての支援に感謝し、復旧・復興を誓うため、次の決議（要旨）を全員一致で可決しました。

「自衛隊、近隣消防、警察、NPOなどの懸命な救出・捜索活動や国・県・近隣市からの復旧への応援は、大きな力となりました。

さらに、県内、全国各地から献身的に復旧支援活動に取り組んでいただいた志



ボランティアセンター

高きボランティアの尊い汗と、全国各地からの温かい激励と義援金品、支援金品の数々は、被災者に復興に向かって立ち上がる勇気を与えてくださいました。これらのご支援を市民は永く記憶にとどめ、感謝の気持ちを語り継いでゆくとでしよう。

本市議会は、市民を代表して全国からの励ましとご支援に深く感謝し、一日も早い復旧・復興と今後の防災・減災対策に、全力で取り組むことを誓います。」

■平成21年7月21日豪雨災害被害の原因を究明し、改善を求める決議

豪雨災害被害の原因を究明し、改善を求めるため、次の決議（要旨）を賛成多数で可決しました。

「本災害は自然災害であるが、各方面から、市が土砂災害防止法が定める必要な措置を怠ってきたこと、また、災害当日の対応の遅れや不手際などによって、被害が拡大したと指摘されている。

今後、このような災害から市民の生命、身体、財産を守り、市民が安心して生活を送れるよう、防災体制を見直し、安心・安全な防府市を行政、議会、市民が一体となつてつくりあげることの必要性を痛感するものである。

よって、市は、この度の災害被害の原因や反省すべき点等について、被災地域の住民や専門家を交えて徹底的に究明・検証を行い、その結果を市民に公表すると共に、今後の防災対策について必要な改善措置を講ずることを求める。」

### ■平成21年度防府市一般会計補正予算(9月)に関する附帯決議

平成21年度防府市一般会計補正予算(9月)において、防府市営大光寺原霊園の被災者に対する災害見舞金が計上されており、その財源は一般財源となっています。税等を財源に見舞金を支出

するのであれば、大光寺原霊園の被災者その他の市営墓地や神社等の墓地の被災者との間に差を設けるべきではありません。

見舞金の支出に当たっては、全ての墓地被災者を平等に扱うよう求める附帯決議を、賛成多数で可決しました。

### ■移動図書館車導入に関する請願書

防府図書館利用者サークル連絡会(富永嶋山代表)から、移動図書館車導入に関する請願書が出され、全員一致で採択しました。内容(要旨)は次のとおりです。

「防府図書館は、平成18年11月にルル

## 豪雨災害に関する 市長行政報告(要旨)(9月29日)

●右田・小野地域の一部地区は、大量の土砂が残り、二次災害による人的被害発生回避のため、避難勧告を継続していたが、仮水路と生活道の整備が完了し、一定の安全が確保されたため、9月3日に避難勧告を解除。

●全ての避難勧告を解除したため、7月21日に設置した災害対策本部を廃止、8月4日に設置している災害復旧本部へ全面的に移行。復旧、復興に取り組んでいる。

●この災害が国において「激甚災害」の指定をされ、農地等の災害復旧事業に係る国庫補助のかさ上げ等、本市への特別の財政援助がされる。

●市道は、応急復旧により、ほとんどが通行可能。災害復旧の必要な箇所は全体で約70力所。うち補助事業対象は34力所で、今年度及び来年度中を目標に工事を行う。単独市費での復旧箇所は、早期復旧に向け、取り組んでいる。

林道は、28力所が被災、うち3力所は補助事業として査定を受ける。小規模な斜面の崩れ等により通行不能の箇所は、応急復旧工事で対応。

河川は、市が管理する河川施設については、約90力所が被災。うち補助事業対象は26力所、小規模災害対象は約20力所。残り約44力所は、既に応急復旧工事が完了。補助事業対象箇所は、今年度及び来年度中を目標に工事完了の予定。

●農地は、あぜの損壊、土砂流入等により約28haの被害。

●農業用施設は、ため池、用水路等約182力所の被害。二次災害のおそれのある68力所は、応急復旧で対応。火葬場(悠久苑)は、火葬炉及び火葬場設備の復旧を最優先し、10月中旬に部分的に使用できる状態にしたい。大光寺原霊園の復旧は、9月17日から工事に着手。説明会で要望があった

墓園の永代使用料や管理料の返還、見舞金の支給は、手続の整備をし、その経費を補正予算にあげている。

●文化財は、崩壊した毛利氏庭園の表門内側の東部分が、来年3月中旬には工事完成と聞いている。阿弥陀寺の湯屋北面及び南面の土塀下部の一部剥離も、来年3月末までに工事終了となっている。

●義援金は、9月28日現在、2,700件、9,979万9,947円が寄せられている。今後、義援金配分委員会で協議いただき、被災者へお配りしたい。

●家屋の全壊、半壊、床上浸水の見舞金は、該当の191世帯へ、8月末日に関係書類を送付。現在、180世帯が手続を済ませており、この方には、9月中に支給し、まだ済んでいない方には、再度連絡をしたい。

●引き続き、被災者への支援をはじめ、心のケア等についても、最大限の誠意を持って対応したい。今回の災害を教訓として、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組むたい。

サス防府に新館オープン以来3年近くを経ました。ただ、市内周辺部の人には利用しにくいのが実情で、広い市内に1館だけでなく、地域図書館や移動図書館が是非とも必要です。

●県内では、13市中10市に地域図書館があり、8市が移動図書館車を運行し、いずれも無いのは防府市だけです。

また、国の「子ども読書活動推進基本計画」でも、移動図書館は、図書館から遠距離の地域に住む子ども読書活動推進に大変有効であり、各地方公共団体は移動図書館の整備に努めると明記されています。

この度の未曾有の豪雨災害から立ち直り、防府の活力ある発展のためにも、図書館の整備に向け、次の点についてお願いいたします。

①移動図書館車の早期導入をしてください。



山口市の移動図書館車

# Q&A

## 一般質問



9月定例議会では、17名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を12月上旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質問内容を要約したものを掲載しております。

### 7月21日の豪雨災害の責任と反省、今後の対策、被災者支援等

大田 雄二郎（忠恕会）

**問** 7月21日の豪雨災害時における市長の責任と反省、そして、今後の対策として「土砂災害防災マップ」の市民への配布を。

**答** 専門部署の設置や専門家の配置をすることで検討している。「土砂災害防災マップ」はできるだけ早く配布したい。  
**被災者支援について**

「防府市土砂災害警戒区域一覧図」は、1年前に山口県が作成した図面で、市役所と出張所にはありますが、市民には配布されていません。この図面を1年前に市民に配布し、7月21日午前8時30分に災害本部を設置後、すぐに避難勧告と避難指示を出していれば、死亡された14人は助かったと思います。

**問** 被災者は見舞金を8月15日の盆までに支給して欲しかったという声が多いので、早く支給を。

**市長** 見舞金は9月末に第1回目の振込みを予定しており、なるべく早い時期に完了したい。

**問** 砂防堰堤の建設について。

**市長** 国直轄で5カ所、県で6カ所が事業決定され、来年の梅雨時期までに完成予定と聞いています。

**市長** 国直轄で5カ所、県で6カ所が事業決定され、来年の梅雨時期までに完成予定と聞いています。

**市長** 避難勧告については遅れたとは思っていない。今後は、防災対策の



### 災害への対応

#### 潔く問題点を認め改善を

伊藤 央（息吹）

**問** 私は平成17年3月議会でボランティアネットワークの構築、災害発生時のベースの迅速な設置、コーディネーター養成の必要性を指摘したが、その後の対応は。

**市長** 市民の通報、職員が現地確認し、避難場所を確保し、安全に避難出来る形で避難勧告した。

**市長** 社協を中心に市の関係各課や関係団体で協議し平成19年にボランティア活動マニュアルを作成した。今回の災害では、ボランティアへの期待の大きさや、地域を良く知るコーディネーターの必要性が分かった。

**市長** そう言われればそれまでのこと。  
**要望** 言い訳ばかりしていたのでは、改善は出来ない。どこが悪かったのか、どこに問題があったのか、認めるべきは認め改めることが必要だ。

**問** 平成18年3月議会で、私は小野地域の土砂災害の危険性、公民館が避難所として使えない可能性について指摘した。土砂災害について「想定外」との発言があったが、私の指摘について検討はしなかったのか。

**市長** 警戒していたが、同時多発的なものだったので「想定外」と言った。初動の遅れが指摘さ

**市長** 警戒していたが、同時多発的なものだったので「想定外」と言った。

◆ **その他の質問項目**  
新型インフルエンザ対策について

### 豪雨災害を忘れない為に、「防府市の防災強化週間」の設定を！

山田 耕治（民主・連合の会）

**問** 社会福祉協議会が主体となっておこなってきた災害ボランティアだが、行政との報告・連絡・相談をどのようにおこなってきたのか？

**健康福祉部長** 行政とボランティアセンターの連絡をする職員を1人派遣して情報交換、報告等を行いました。課題が残るところもあった。

**問** 防府市へ自然災害がまた発生したら、万が一の災害時に必要なマンパワーの担い手として、ボランティア活動をしてくれる防府住民の皆さんや団体等、防災ボランティアとして登録するなど、住民の皆さんを事前を守る施策のひとつとして（仮称）防府市防災ボランティア活動支援センターを設置し、自衛、相談窓口も含め市民の皆さまのご要望に答えることが出来ないか？

**市長** 防災対策室を（仮

称）防災危機管理課へ昇格させ、災害ボランティアの検証と併せ検討していきたい。

**問** 防府の地で起きた悪夢の災害を忘れないためにも、7月21日を豪雨災害の日と定め、今後、7月21日から1週間を、「防府市の防災強化週間」にして、防災訓練や市民の皆さまに呼びかけることは出来ないか？

**市長** 7月21日から1週間程度を防府市の防災週間として、実施に向けて検討に入りたい。



被災現場で、頑張っているボランティアの皆さん

**◆その他の質問項目**  
自転車の交通規則の周知徹底について

### 防府市再生のための人づくり政策 協働による「花いっぱい運動」

今津 誠一（六日会）

**問** 人づくりによって、防府市の再生、発展を図ることは極めて重要な政策である。防府市の再生に貢献する人材を育てるため、「地域の子どもは地域が責任を持って育てる」というスローガンのもと、家庭・学校・地域社会・教育委員会・行政が一体となった人づくりシステムを構築することは提案する。

**教育長** 家庭・学校・地域社会・教育委員会・行政が連携を強化し、教育の充実を図ることは、大変重要なことと考えている。今後、ご提案のシステム構築について検討し、防府市全体の教育力の向上につなげて参りたいと思います。

**問** 2011年山口国体の開催に合わせ、県内各地域で「花いっぱい運動」が展開される。「花で溢れるまち」の素晴らしいさを市民に実感して貰うため、

是非成功させて欲しい。また、この運動を国体終了後も継続する計画の策定を要望する。

**市長** 本番の山口国体・山口大会では花のプラントで競技会場や駅、沿道、民宿施設などを「花いっぱい」にして来訪者の方々のおもてなしをする予定。今年度は企業や学校など48団体が参加し36,000本の苗を育成、配布しているが来年度はさらに大きな運動の広がりが可能になると考えている。市民皆様方の「花いっぱい運動」の機運も盛り上がり、これを継続するには絶好の機会と考えている。



### 自主避難所の見直しを 被災者の心のケア対策を

原田 洋介（息吹）

**問** 今回の豪雨による災害時に、市が指定している自主避難所の中には、浸水や土砂の流入で自主避難できない箇所がいくつかみられた。見直す必要があるかどうか。

**市長** 台風、高潮など、災害ごとに避難所の別も必要と考えられるので、地元の意見をうかがった上で、早急に細部にわた見直しをかけた。

**問** 災害によってストレスが加わると、心の問題が引き起こされる可能性がある。心のケア対策はどうなっているか。

**市長** 各避難所において、健康相談を実施してきた。現在は、家庭訪問や電話で相談を受けている。避難勧告が長く続いた地区では、症状例や相談窓口を記したパンフレットを配布した。



被害の大きかった小野地区

**教育長** 現在のところ学校では見られないが、引き続き注意するよう指示している。

**問** 一日も早く従前の生活に戻っていただくために、行政の情報をきめ細かく伝達しなければならぬと考えているかどうか。

**市長** 地域の復旧・復興には全力を挙げている。情報の伝達は、市広報臨時号や税の減免、見舞金、支援金情報のお知らせを被災地域に配布した。今後市広報やFMなどを通じて、地元の方々にうまく情報が行き渡るよう心がけていく。

### 災害時要援護者の避難支援の充実を！ 迅速な防災情報の提供を！

高砂 朋子(公明党)

**問** 自力による避難が困難な障がい者、高齢者、病気療養中の方々を把握し、どのように安全な場所に避難誘導するか、具体的な支援プラン策定は直ちに掛からなければならぬ重要な案件であり、各地域の自主防災組織結成も不可欠と思いますが、市の考えは。

**市長** 今回の災害での情報伝達の問題点を検証し、より良い全体プランを作成した上で、来年度から自治会や関係部署・機関と連携し、名簿作成、個別計画を立ててまいります。自治会の自主防災組織は、現在48・37%結成。今後モリナーダ研修会などを開催しながら啓発してまいります。

**問** 今後、FMわっしょい、ケーブルテレビ、同報系防災行政無線、山口県土木防災情報システム、防府市安心安全情報システムなど、あらゆる



防災情報提供の手段をもっと有効かつ迅速に活用していただきたい。特に携帯電話の活用は有効。登録用バーコードを市広報等へ掲載して、情報を入手しやすくしては。

**市長** 防府市安心安全情報システムを、「防府市メールサービス」とし、防災、防犯、消防、生活イベント等の情報を提供してまいります。登録方法として、バーコード掲載は前向きに検討します。

**その他の質問項目**

- ◆各小学校の食器数の増加と材質の変更について
- ◆大光寺原霊園の復旧工事について

### 土砂災害ハザードマップ作成を 各戸ごとに受信機の普及へ

木村 一彦(日本共産党)

**問** 7月の豪雨災害では土石流によって多くの犠牲者が出ました。常日頃からいざという場合の対処方法を身につけておくことが重要であることを教えています。市は昨年3月、土砂災害警戒区域の県指定を受けながら、いまだにハザードマップをつくっていません。早急につくるべきでは。

**市長** 県の指導も受けながら今年度中に防災マップを作成し、関係地域に全戸配布します。また、今後作成するハザードマップは、避難場所や避難経路について、警戒区域ごとにその位置を示し、個々の家屋についてもおおむね位置が判断できるレベルのものとの方針です。

**問** 新設の同報系防災行政無線は、今回激しい雨音でスピーカーの音が聞き消されて役に立ちませんでした。他の自治体の



経験では、各戸ごとの受信機の方が役立つといわれています。とりいれるお考えは。

**市長** 屋外スピーカーによるいまのシステムを改善する一方、現在各自治会長宅に配置している個別受信機を普及させることを研究します。

**問** 未曾有の災害の教訓を後世に残すべきでは。

**市長** 今回受けた被害の実態や今後の防災の課題を整理・検証し、これらを後世に伝えるため、仮称「災害記録誌」として冊子にまとめることを考えます。

### 災害対応の遅れ 市長まだ謝罪せず！

松村 学(明政会)

**問** 今後の災害復旧の目処はいつ頃か？また市広報等で各施設の復旧時期について紹介できないか？

**市長** 勝坂橋付近の完全復旧は1年、火葬場は10月中に部分復旧、市道河川等は国の査定を受け、来年度中を目処に完了する。大光寺原霊園は年度内の復旧を目指しており、詳細を市広報等で示したいと考えている。

**問** この度の災害で、街中でも路面がほとんど水没した。年々、既存の河川整備では防げなくなってきたが、新たな改善策は考えられないか？

**市長** 一時貯留機能施設の整備など雨水排水計画の見直しと連携し、検討を進めたい。

**問** 災害対応の遅れについて、市長は市民に謝罪されないのか？

**市長** 私は、決して初動に遅れがあったと考えていない。

**意見** マスコミで指摘されているように、不可解な行動もあり対応が遅れた。避難勧告指示マニュアルは活用されず、県内の他市と比べて避難勧告が著しく遅い。人災の疑いは否めない。



## 行政改革について

久保 玄爾げんじ（六日会）

**問** 国と地方合わせて約80兆円の債務を抱え我が国は先進国の中でも最悪の借金大国と言われている。そうした中、平成17年3月、財政再建を目指す国は「地方公共団体に於ける行政改革推進のための新たな指針」を示し、一層の行財政改革を求めている。それに対応して、防府市に於いては、平成17年度から今年度までの5年間に限定して、職員の定数管理の適正化、民間委託の推進、組織機構の改善等を中心に9項目の「防府市集中改革プラン」が策定された。

その内「職員の定数管理」に関しては、平成17年4月1日829人から平成22年4月1日760人、計69人の削減目標、金額にして10億76万7千円が設定され、1年繰り上げて今年4月1日に目標が達成された。本来私は財政再建には賛意を表

するものだが、職員の大幅な削減には次の点について疑義を持つ。

行政は最大のサービス産業と言われている。職員が減り続けることによって、住民からの要望に対応出来なくなっている。特に土木都市建設部に於いては、道路、河川、側溝等、予算があっても人手がないため、これまで市民からの要望が10億円以上積み残されている。サービス残業の発生

の危機にあり、職員の肉体的、精神的な疲弊とともに行政の質の劣化を招く。「地産地消」等の市長の施策推進の人材の養成に支障をきたす。財政が好転して行政が劣化する。「角を矯めて牛を殺す」とのならないよう願う。

**市長** 懸命に行財政改革を推進した結果ではあるが、私も限界を感じている。見直しを求め検討する。

## 建設業と地域の元気回復事業 農地法等改正について

山根 祐二（公明党）

**問** 国の支援事業である建設業と地域の元気回復事業について、本市の取り組みはどうか。

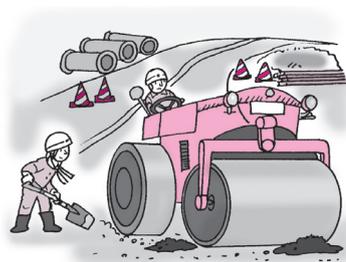
**市長** 本助成事業の第2次募集が始まっているが、建設業協会防府支部では案件がないとのことであった。市としては協議会が設置されれば参画していく。

**問** 本市の建設業の現状認識はどうか。

**市長** 経営状況は厳しいと推察する。本市では工事の早期発注や地元企業への優先発注など取り組みしてきた。公共工事の入札について調査基準価格の引き下げや、総合評価入札方式や単品スライド方式導入など、改善に努めてきた。建設業界の活性化に様々な施策を講じていきたい。

**問** 農地集積加速化事業の取り組みはどうか。

**産業振興部長** 農地の出し手に補助金を交付する



事業だが今後、国の動向を注視し検討していく。

**問** 耕作放棄地への効果はどうか。

**産業振興部長** 農地集積加速化事業により、担い手への農地の面的集積が促進されれば、耕作放棄地の増加に歯止めがかかると考えている。詳細が明らかになった時点で取り組みは検討する。

**問** 農業委員会の体制強化についてどう考えるか。

**農業委員会事務局長** 農地法改正により農業委員会の担う業務が増大すると考える。農業委員会の体制強化を検討していく。

## 今回の豪雨災害の総括について

土井 章（明政会）

**問** ①臨時議会で台風、高潮、佐波川の氾濫を想定し、土石流災害は想定外と答弁したが、その根拠。②避難勧告は災害が発生した後に発令されたのか。③市民からの情報に基つき、勝坂を始め、各地区に最初に確認に入ったのは、何時か。④県の土砂災害警戒情報の詳細確認ができなかった理由とその責任は？⑤大光寺原霊園の復旧について被災者の要望と市の回答は？⑥災対本部に「FMわっしょい」のサテライト局を設ける等、積極的な活用をすべき。⑦早期に指定避難所の見直しをすべき。⑧土砂災害ハザードマップの早期作成について。

けなかったのが2件。（委員会でも明らかな説明なし）④情報が錯綜するなど混乱し、警戒情報の伝達、確認に不手際が生じた。責任は全て自分にある。⑤誠意をもって対応するが、明日回答するので、今は言えない。（説明会ではほぼゼロ回答で、紛糾した。）

⑥今後、検討すべき課題。⑦見直しについて早期に防災会議に諮りたい。⑧当面、危険区域の土砂災害防災マップを作成配布する。

**◆その他の質問項目**  
◆保育料、学校給食費の滞納対策について

**市長** ①規模、発生箇所数において想定外とした。②出していない。③自分が承知しているのは、現場に向かったが、辿り着



### 災害対策について

田中 健次(市民クラブ)

**問** 土砂災害警戒区域に  
対する市の責務と今後の  
対応は、どうなのか。

**市長** ①地域防災計画の  
中に、急傾斜地、土石流、  
地すべりについて、総合  
的な警戒避難体制を追加  
検討する。

②災害時要援護者関連  
施設への土砂災害警戒情  
報伝達のルート、降雨危  
険度基準などを早急にマ  
ニュアル化したい。

③今年度中に土砂災害  
防災マップを作成、関連  
地域の全戸へ配布したい。

**問** 避難勧告等の判断マ  
ニュアルは、水害、高潮  
災害、土砂災害、津波と  
別々に作成しているのか。

**市長** それぞれの災害形  
態に応じたマニュアルは  
作成していない。災害形  
態に応じた具体的な判断  
基準を明記したマニユア  
ルを作成することは急  
務。土砂災害のマニユア  
ルは早急に作成します。

**問** 防災担当の職員体制

は、今後どういう体制を  
考えているのか。

**市長** 今年10月に防災危  
機管理課の設置を検討。  
新年度から防災専門分野  
の専門員を採用する。

**問** ①佐波川洪水ハザ  
ードマップを再度、市民に  
配布すべきではないか。

②柳川等の洪水ハザ  
ードマップをどうするのか。

**市長** ①佐波川洪水ハ  
ザードマップは来年度に  
更新作業に着手する。

②柳川・馬刀川洪水ハ  
ザードマップは今年度作  
成、関係する牟礼地区に  
全戸配布したい。



#### その他の質問項目

◆土砂災害警戒区域の土  
砂災害特別警戒区域へ  
の見直し

◆避難勧告等の伝達方法

◆自主防災組織の整備

### 豪雨被災者支援の充実を 宮市保育所の早期改築と直営維持を

山本 久江(日本共産党)

**問** 市防災計画には、土  
砂災害警戒区域ごとに、  
警戒避難体制に関する事  
項を定めることになって  
いるが、どう整備するか。

**市長** 早急に検討する。  
また、今年度中に「土砂  
災害防災マップ」を作成  
し、関係する地域の全世  
帯及び関連施設に配布し  
たい。

**問** 災害時要援護者関連  
施設への情報等の伝達方  
法は今後どう考えるか。

**市長** 情報伝達のルー  
ト、降雨危険度基準など  
をマニュアル化し、関係  
部署や関連施設へ周知徹  
底を図りたい。

**問** 危険箇所にある要援  
護者施設周辺の防災対策  
が急がれるかどうか。

**市長** 早期に国・県に要  
望し、全面的な協力を  
行ってまいりたい。

**問** 被災した中小業者へ  
市融資制度の充実を求め  
たいかどうか。

**市長** 利子の2分の1を

5年間補給したい。

**問** 被災者生活再建支援  
制度では、半壊、床上浸  
水等が対象となっていな  
いが、国に制度拡充を求  
めてほしい。

**市長** 支援限度額の拡充  
も含め、市長会を通して  
国・県に要望したい。

**問** 老朽化した宮市保育  
所の改築が急がれるが、  
今後の計画はどうか。

**健康福祉部長** 必要性は  
十分に承知しており、民  
間移管も視野にいれなが  
ら早急に対応できるよう  
努力したい。

**問** 3公立保育所は直営  
を維持すべきだがどうか。

**健康福祉部長** 移管した  
2園の検証の後、残り3  
園の移管について検討し  
てまいりたい。



### 天災は忘れた頃にやってくる！ 7月21日を防府市「防災の日」に

三原 昭治(民意クラブ)

**問** 県の土砂災害警戒情  
報や降雨危険度情報で、  
今回の様な局地的豪雨に  
対応できるのか。

**総務部長** 場所の特定は  
難しく、職員派遣での確  
認方法を取っているが、  
十分な対応はできない。

**問** 対応策でデータを逐  
次パソコンや携帯電話に  
配信する局地豪雨計測警  
報システムがあるが、導  
入を考えては。

**総務部長** 検討する必要  
があると思う。

**問** 職員の現地確認は時  
間がかかり、市民からの  
情報も錯綜したとのこと  
だが、各地域に防災情報  
委員を配置し、情報の敏  
速化、一本化を図っては。

**総務部長** 自主防災組織  
の中で検討したい。

**問** 特定・非特定施設の  
避難訓練で、消防署員の  
立会いは義務付けられて  
いないが、要援護者を収  
容する施設については立  
会いを行うべきでは。

**市長** 教訓と後世への継  
承も含め制定の検討に入  
っている。



大惨事をもたらした豪雨災害

**消防長** 実施に向けた対  
応をしたい。

**問** 行政に頼らず率先避  
難が究極の防災との指摘  
があるが、市民向けの避  
難マニュアルの作成を。

**総務部長** 検討する価値  
がある。

**問** 被災者を始め、災害  
に係った人々たちで検証  
委員会を設けては。

**総務部長** 新設の防災危  
機管理課において、重要  
項目に加える。

**問** 今回の災害を教訓と  
するため7月21日を防府  
市の「防災の日」としては。

**市長** 教訓と後世への継  
承も含め制定の検討に入  
っている。

### 市民に安らぎのメロディーチャイムを！ 災害に強いまちづくりを！

重川 恭年（民意クラブ）

**問** 市公会堂時計台からチャイムが流れていたが、いつの間にか止まっている。市民に安らぎやこい、うるおい、そして活力、元気を出してもらうためにも復活できないか。

**教育次長** 確かに市民に親しまれていたが、周辺の建築物の高層化や生活環境の変化などとともに、老朽化もあり廃止した。しかしながら全市民的な取り組みも考えてみたい。

**問** 現在正午に鳴らされている消防署のサイレンを切り替えることはできないか。

**消防長** 消防法で信号機として鳴らしており、現在では難しい。

**問** 今回全市的に設置した同報系防災行政無線を活用できないか。

**総務部長** 技術的には可能であり、無線の存在認識、日常の注意喚起にも

効果があると思うので、検討していきたい。

**問** 今回の豪雨災害を教訓として、災害に強いまちづくりをどう構築していく考えか。

**市長** 災害に強いまちづくりが私の責任と痛感しており、情報の収集、的確な判断、正確な伝達ができるよう努力したい。

防災行政無線の拡充、自主防災組織の育成、防災マップの配布、防災危機管理課の設置等々である。

**問** ソフト面の充実強化は当然であるが、ハードの面についてはどうか。

**土木都市建設部長** 国や県とも協議して整備充実にも努めていきたい。



公会堂のシンボルタワー

### 新型インフルエンザ対策について 野犬対策について

山下 和明（公明党）

**問** 新型インフルエンザは喘息や糖尿病など持病のある人、妊婦の方は重症化しやすい傾向にあります。既に、どこで、それが感染してもおかしくない状況下にあります。発症状況と予防対策はどうか。

**市長** 市内に感染が確認され、市直営施設等には消毒液を設置し、保育所、幼稚園、小中学校にはマスクを配布し、予防に努めている。

**問** 市民に流行情報を提供する体制はどうか。

**健康福祉部長** 予防啓発、市の広報やホームページで呼びかけ、あらゆる機関を通じて行っている。

**問** 新型インフルエンザワクチン接種には、6,000円から8,000円程度の自己負担が必要とみられている。そこで重症化に陥る方や高齢者は、自己負担の軽減を図ってはどうか。

**健康福祉部長** 費用負担については、当面、国の動向を見ていきたい。

**問** 桑山一帯に野犬が多い事について苦情が寄せられている。野犬対策について伺いたい。

**市長** 野犬の苦情や情報は防府健康福祉センターに連絡している。公園管理者として野犬に注意を促す看板を設置しているが、すぐに看板が壊れるという状況が続いたことから、防府警察署に被害届を提出し巡回をお願いしている。

**問** 野犬に関する苦情の件数はどうか。

**生活環境部長** 平成18年度221件、平成19年度166件、平成20年度169件ありました。

**要望** 野犬対策の啓発費用を検討して頂きたい。



### 山林の保全管理について 積極的に市道認定を進めては

田中 敏靖（平成会）

**問** 防府市の森林の8割が個人所有で、2割が市有林となっているが、山林の管理はどうなっているのか。

**市長** 市有林については、森林施設計画に基づき、間伐、枝打ち、再造林、下刈りなどを行っている。個人所有は、森林組合の森林巡視指導員を通じて全般的な助言などを行っている。また、森林組合は、市・県の委託を受けて造林、下刈り、間伐などを行っている。

**問** 平成15年旧牟礼村からの市有林の地上権契約が満了となったとき、なぜ市有林野賃借契約にしたのか。

**市長** 満了となった時点で、他の市有林の事例と同様に契約した。

**問** 柳川と馬刃川は浸水被害が多く、対応はどうか。

**市長** 早期整備が行われるよう県に要望する。

**問** 河川管理、法定外公物水路の管理は。

**市長** 1級河川や中小河川は、国・県・市に管理が区分されている。法定外は、維持管理は地元関係者で、機能管理は市となっている。

**問** 市道認定件数の減少理由は。

**市長** 生活道路の市道認定件数が減少しているため。

**問** 認定の要件とあり5戸以上であれば行き止まりでも市道認定すべきでは。

**市長** 市道路線編入基準に関する規程に基づいて、適切に認定する。



## 水道事業決算特別委員会の報告

（9月30日開催）

1年間の料金対象水量は、1,258万8,215m<sup>3</sup>となり、前年度と比較して14万588m<sup>3</sup>の減で、3億692万1,331円の純利益となりました。

建設改良事業では、未給水地区等の配水管及び送水管の布設工事、老朽配水管の布設替工事並びに人丸水源地改良工事（平成19年度からの3力年継続事業）のうち、平成20年度に予定していた工事の一部を除いた、2力年間の予定工事が実施されました。

企業債については、繰越利益剰余金処分額3億1,188万6,547円及び工業用水道事業会計からの借入金2億円等を財源として約6億5千万円の高金利債の繰上償還が行われました。

漏水については、平成20年度は市民から80件の漏水の通報があり、前年度より33件増加しています。また年次計画的に夜間漏水調査を行っていますが、当年度は25件の漏水を発見し、これも前年度より件数が増加しています。漏水の主な原因は、老朽管（ヒール管）の破損ですので、今後は、耐震性の強化も含めて、漏水防止対策には、力を入れていく必要があると考えているとの説明がありました。

また、石綿セメント管の取り替えについては、今後、年平均約1kmを目標に布設替えの計画を立てており、平成24年度には全ての更新を終わりたいと考えているとの説明がありました。

「当初予算の審議の際に反対した水道施設運転管理等業務委託の予算が執行されているので、決算の認定には反対する。」との意見がありましたが、採決の結果、賛成多数により原案のとおり承認しました。

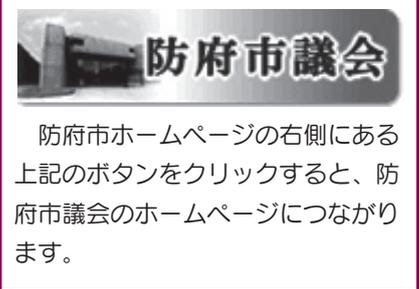
## 市議会ホームページを

### ご活用ください

防府市議会ホームページでは、会議の日程、傍聴の方法、会議録など、市議会に関する情報を発信しています。より市民に開かれた議会を目指し、親しみやすいホームページになるよう、今後も充実を図って参ります。



- ※1 会議の日程等 議会の日程がわかります。また、議会が開会すると、一般質問の項目が掲載されます。
- ※2 傍聴 議会傍聴の仕方はこちらをご覧ください。
- ※3 請願・陳情の提出 市議会へ請願・陳情を提出する時に、ご覧下さい。
- ※4 定例会・臨時会の結果 提出された議案の簡単な説明とその審議結果。
- ※5 会議録 本会議の会議録はここで見られます。議場でのやりとりがわかります。
- ※6 市議会だより バックナンバーもあります。
- ※7 政務調査費 防府市議会の政務調査費について説明しています。
- ※8 新着情報 次の議会の日程（案）など、新しいニュースを掲示しています。



防府市ホームページの右側にある上記のボタンをクリックすると、防府市議会のホームページにつながります。

# 常任委員会の報告

## 総務委員会

### ●市自治基本条例の制定について

6月議会で継続審査となった本条例案について、8月11日、24日、9月10日及び16日に審査を行い、修正案を賛成多数で可決しました。

修正の主なものとして、執行部案では「市民」を「市内に居住する人、市内で働き、若しくは学ぶ人又は市内で事業活動その他の活動を行う人若しくは団体」と定義していますが、「市民」と「市民等」に分け、それぞれ「市内に住所を有する人」と「市民、市内で働き、若しくは学ぶ人又は市内で事業活動その他の活動を行う人若しくは団体」と定義を改めました。それに伴い、各条文で「市民」、「市民等」を使い分けることとしています。

また、「自治の基本理念」の中に「地域の歴史及び文化的な特性を尊重したまちづくり」と「自主的かつ自立的な市政運営」を追加しました。

さらに、条例の見直しの期間を原案の「5年」を、市長の任期内に一度は見直しするよう、「4年」と修正しました。

### ●一般会計補正予算（8号）

歳出の主なものでは、市税等の徴収において、初期滞納者に対し、納付を促すためコールセンターを開設することとし、庁舎改造工事等の初期費用や業者への委託料等が計上されています。

この事業はふるさと雇用再生特別基金事業を財源としていますが、市民の福祉の向上に使うべきであること。滞納減少の目標を4,200万円としているが、その効果は期待できないことなどの理由で、コールセンターを削除する修正案が提出されましたが、修正案を否決し、原案を可決しました。

## 教育民生委員会

### ●一般会計補正予算（8号）

歳出の主なものは、社会福祉協議会が主体で運営された災害ボランティアセンターに関わる経費や県の安心子ども基金を活用した地域子育て支援事業に関わる経費、地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業に関わる経費、スクール・ニュー

ディール構想として小中学校のデジタルテレビ等を購入する経費、文化財郷土資料館整備費、市内15公民館へのデジタルテレビ購入費等のほか、上右田老人憩の家に関わる災害復旧工事業費が計上されています。また、火災警報器設置助成事業及び住宅用太陽光発電システム設置に関する経費が増額補正されています。

### ●災害に関連する質問

市営大光寺原霊園の被災者に対して、6回の説明会を開催し、その際に出された意見や要望について、弁護士や法医学等の専門家に相談し、9月12日に報告会を開催しました。その後、今回の災害に限定し、使用料や管理料の還付、見舞金の支給について検討し、最終日に補正予算を追加上程する予定との説明がありました。

今回の災害を踏まえ、保護者、地域への連絡体制及び校内、登下校時等の学校危機管理マニュアルを改訂しました。保護者への対応については、電話だけでなくメール等の配信も含めて考えていくように指示をしていますとの説明がありました。



## 産業建設委員会

### ●一般会計補正予算（8号）

歳出では、緊急雇用対策として観光客動態調査、市道側溝状況調査等の事業費と7月豪雨で被災された農業者の復旧資金の利子補給補助金や園芸事業者を対象とした補助金を計上しています。土木関係では、勘場川の山陽本線横断暗渠築造関連工事委託料の増額、ルルサス防府の北側への身体障害者用停車施設設置工事費等が計上されています。

### ●公共下水道事業特別会計補正予算（1号）

国の経済危機対策を受けて、中関1号支線第2工区（北山手）、汚水管渠実施設計委託業務及び単独事業の自由ヶ丘地区管渠施設改良工事に関わる経費を計上しています。

### ●水道事業会計補正予算（2号）

国の経済危機対策を受けて、老朽管の更新事業費と、国庫補助金を合わせて増額補正するものです。

### ●災害に関連する質問

ため池に大量の土砂が流れ込み、保水能力が落ちて、二次災害の危険性がある箇所については、ある程度、土砂、流木等を取り除き、応急対策として、手当てをしています。また、災害復旧事業として予定している16カ所については、11月末までに国の査定を受けて、順次実施するとの説明がありました。



勘場川の山陽本線横断暗渠築造関連工事

# 議会日誌

## 8月

- 7日 議会運営委員会  
勉強会  
・補正予算
- 11日 臨時議会  
総務委員会  
・自治基本条例継続審査
- 18日 山口県市議会議長会議員研修会（美祢市）
- 24日 総務委員会  
・自治基本条例継続審査
- 27日 議会運営委員会  
勉強会  
・補正予算、条例改正等

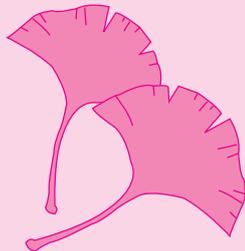
- 28日 議会運営委員会
- 29日 9月定例議会閉会（委員長報告・採決、追加議案審議）  
広報編集委員会

## 10月

- 9日 広報編集委員会
- 13日 一般・特別会計決算特別委員会（～15日）
- 19日 説明会  
・下水道事業  
議会改革推進協議会
- 23日 広報編集委員会
- 27日 産業建設委員会行政視察（～29日）  
・まちなみ整備事業（山鹿市）  
・地産地消の取り組み（熊本市）  
・都市と農山漁村の交流事業（天草市）
- 29日 広報編集委員会
- 30日 議会まちづくり委員会

## 9月

- 1日 9月定例議会開会  
広報編集委員会
- 8日 水道事業決算特別委員会
- 9日 本会議（一般質問）
- 10日 本会議（一般質問）  
総務委員会  
・自治基本条例継続審査
- 11日 本会議（一般質問）
- 14日 本会議（一般質問）  
議会運営委員会
- 16日 総務委員会
- 17日 教育民生委員会
- 18日 議会運営委員会  
産業建設委員会  
観光振興対策調査特別委員会  
・観光振興の施策と体系  
・観光客動態調査の結果  
・まちづくり交付金事業
- 24日 議会まちづくり委員会  
議会運営委員会



## 12月定例議会の予定

- 2日 本会議（開会）
- 9日 本会議（一般質問）
- 10日 本会議（一般質問）
- 11日 本会議（一般質問）
- 14日 本会議（一般質問）
- 16日 常任委員会（総務委員会、教育民生委員会、産業建設委員会）
- 22日 本会議（閉会）

会議の開会時刻は午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL 25-2182

### 編集後記（表紙の説明）

国指定名勝の毛利氏庭園は、明治25年（1892年）に、井上馨が旧萩藩主毛利氏の本居にふさわしい場所としてこの地を選択し、大正5年（1916年）に完成しました。佐久間金太郎が築庭した2万5千坪の起伏に富んだ広大な庭園は、代表的な近代日本庭園として高い評価をえています。

多々良山の南麓、瀬戸内を借景に、四季折々に、サクラ、フジ、サツキ、ハナシヨウブ、モミジが彩り、庭園は日々、表情をかえていきます。

表紙は、城門を思わせる雄大な表門とモミジです。今号をお届けする頃には、あざやかさを増すモミジを楽しめることでしょう。

また、毛利博物館では、雪舟筆国宝「四季山水図」をはじめ、重要文化財や山口県指定文化財などが、この時期、特別展示されています。晩秋の一日、この表門をくぐり、今年も、防府市が全国に誇れる「天下の名宝」にふれてみたいものです。

左記の6名が一年間編集を担当しました。次号から新体制になりますが、引き続きよろしくお願ひします。

（写真提供・防府毛利報公会）

### 議会広報編集委員会

◎田中健次 田中敏晴

○伊藤 央 中司 実

青木 明夫 山本久江

（◎委員長、○副委員長）